

# 北広島市介護保険事業の現状分析

【令和2年9月作成版】

北広島市 保健福祉部 高齢者支援課



**The Ambitious City**

—大志をいだくまち— HOKKAIDO 北広島市



地域包括ケア「見える化」システムとは、都道府県・市町村における介護保険事業計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。

地域包括ケア「見える化」システムの主な目的は、以下のとおりです。

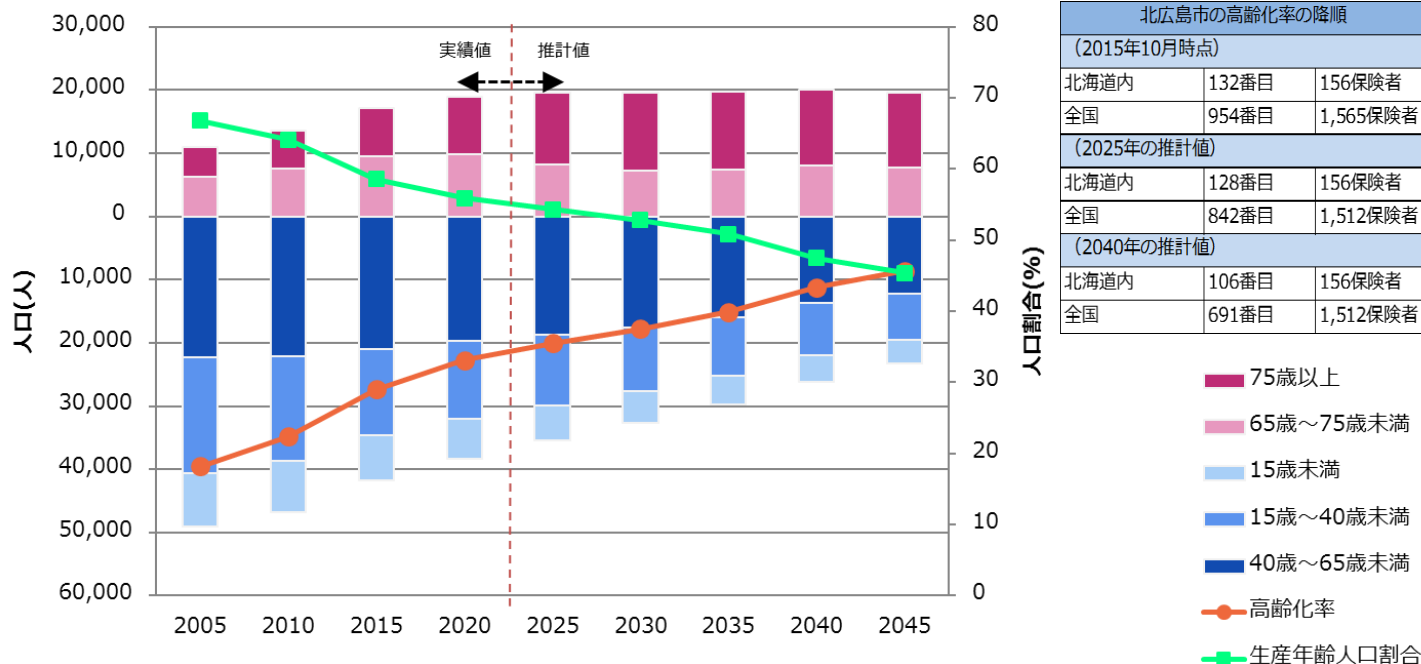
- 地域間比較等による現状分析から、自治体の課題抽出をより容易に実施可能とする
- 同様の課題を抱える自治体の取組事例等を参照することで、各自治体が自らに適した施策を検討しやすくする
- 都道府県・市町村内の関係者全員が一元化された情報を閲覧可能となることで、関係者間の課題意識や互いの検討状況を共有することができ、自治体間・関係部署間の連携が容易になる

1	人口の推移	4 ページ
2	高齢化率	5 ページ
3	高齢者を含む世帯の割合	6 ページ
4	高齢独居世帯の割合	7 ページ
5	高齢夫婦世帯の割合	8 ページ
6	認定率（他市比較）	9 ページ
7	認定率（経年比較）	10 ページ
8	調整済み認定率（他市比較）	11 ページ
9	調整済み認定率（重度・軽度分布）	12 ページ
10	受給率（施設サービス）	13 ページ
11	受給率（居住系サービス）	14 ページ
12	受給率（在宅サービス）	15 ページ
13	1人あたり給付月額（サービス系統別）	16 ページ
14	1人あたり給付月額（サービス種類別）	17 ページ
15	北広島市の特徴、現状分析と原因	18 ページ

# 1 人口の推移



## 北広島市の人口の推移



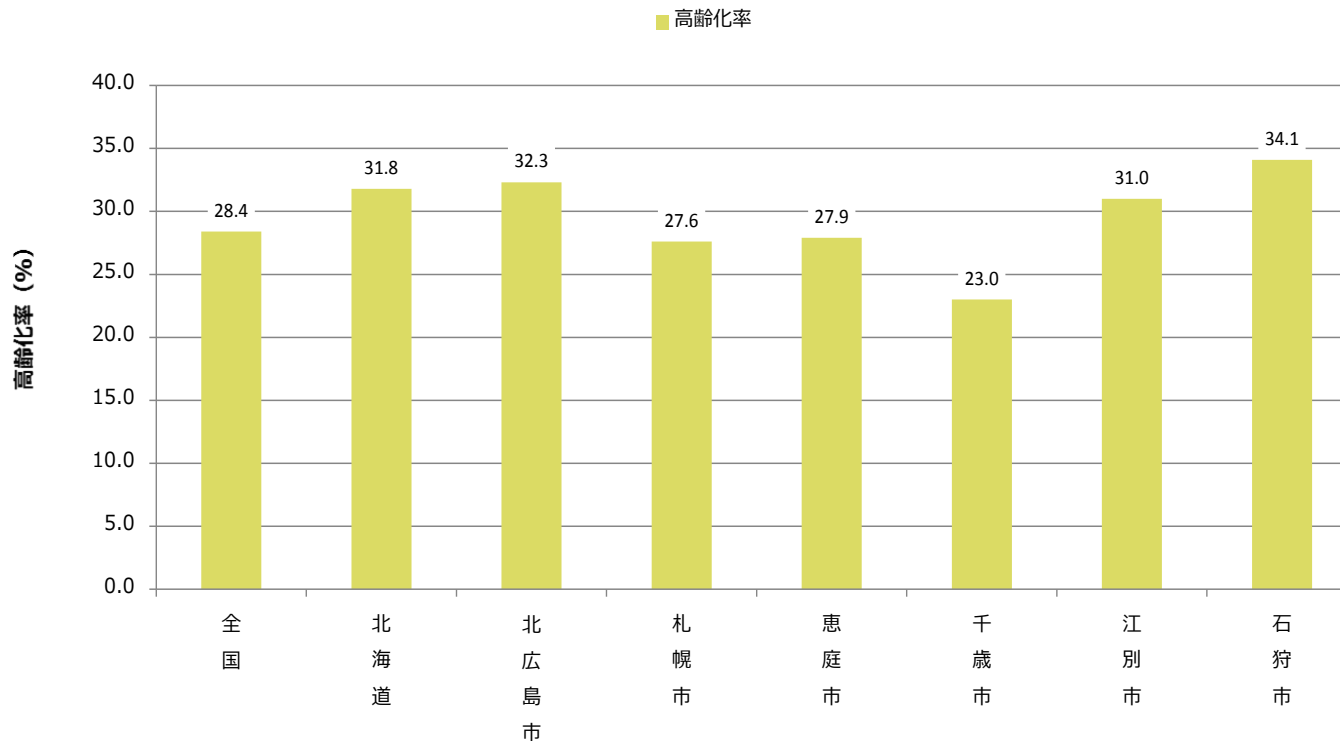
(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」

2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の地域別将来推計人口」によると、2025年の北広島市の高齢者人口19,542人・高齢化率35.5%、2040年には、高齢者人口20,075人・高齢化率43.4%で高齢者人口のピークを迎える推計となっています。



### 高齢化率（令和元年(2019年)）



(時点) 令和元年(2019年)

(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

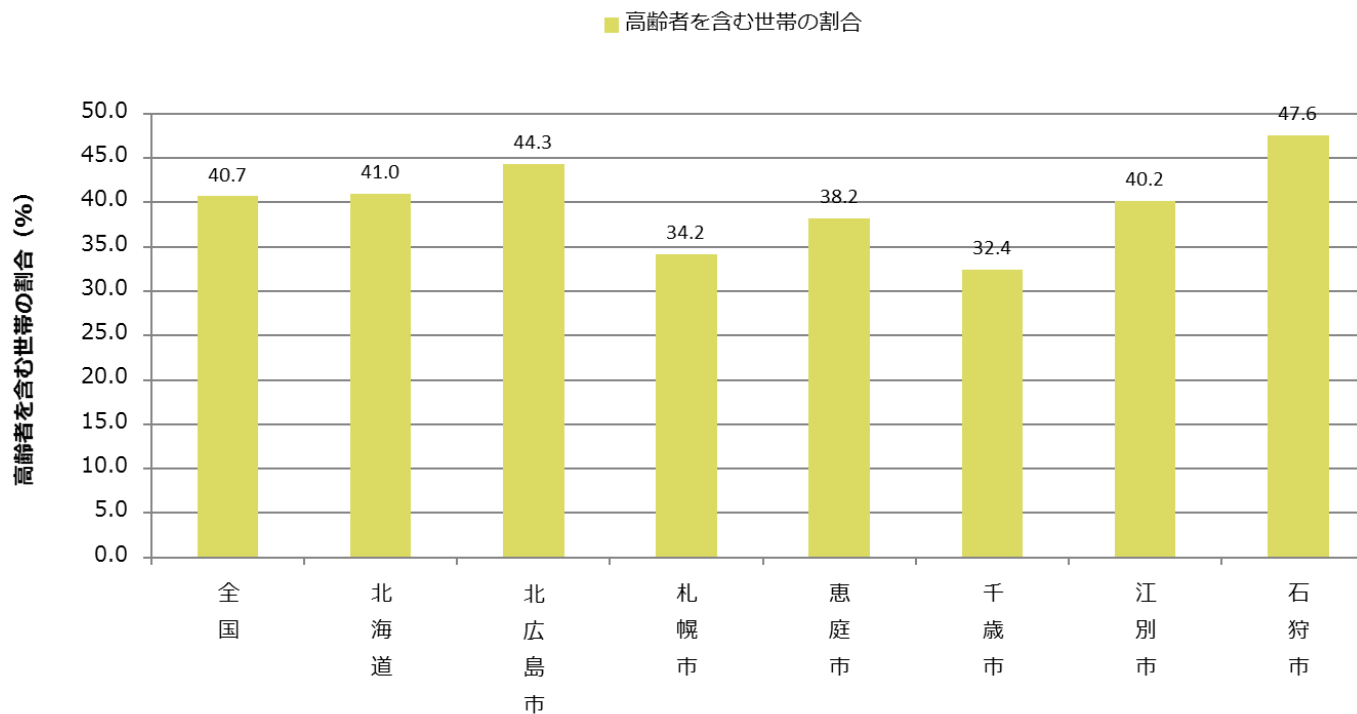
令和元年の北広島市の高齢化率は32.3%で全国平均(28.4%)、全道平均(31.8%)を上回る値となっています。

また、石狩管内他市と比較して、高めの値となっています。

### 3 高齢者を含む世帯の割合



#### 高齢者を含む世帯の割合（平成27年(2015年)）



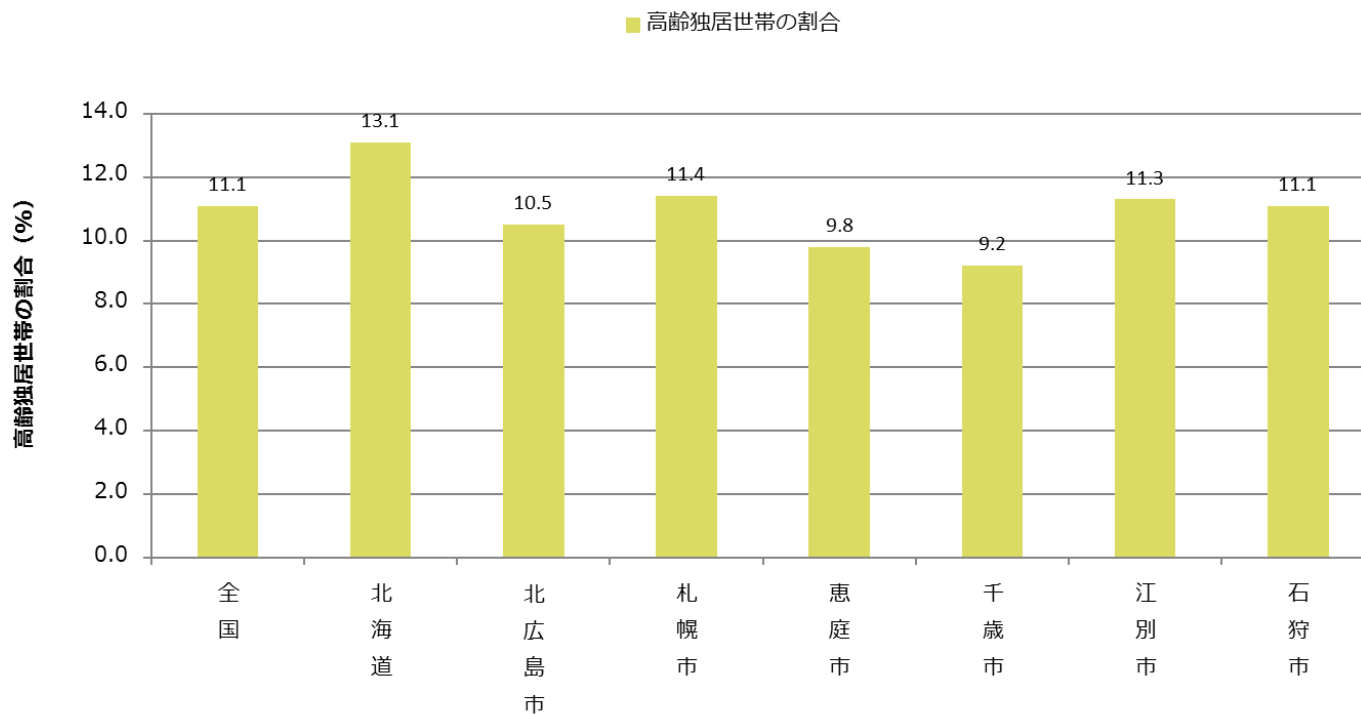
平成27年の北広島市の高齢者を含む世帯の割合は44.3%で、全国平均（40.7%）、全道平均（41.0%）を上回り、また、石狩管内他市と比較しても、高めの値となっています。

(時点) 平成27年(2015年)  
(出典) 総務省「国勢調査」

## 4 高齢独居世帯の割合



### 高齢独居世帯の割合（平成27年(2015年)）



(時点) 平成27年(2015年)  
(出典) 総務省「国勢調査」

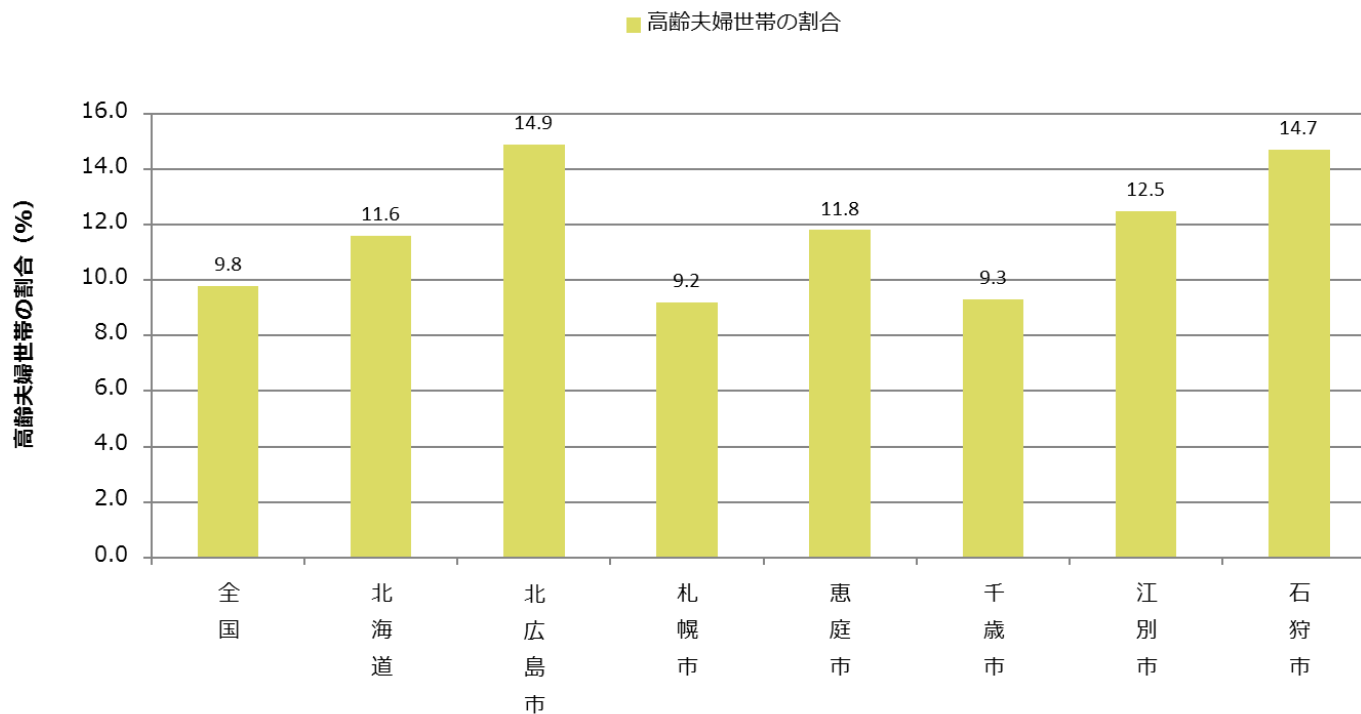
平成27年の北広島市の高齢独居世帯の割合は10.5%で、全国平均（11.1%）、全道平均（13.1%）を下回っています。

また、札幌市・江別市と比較すると、高齢化率は北広島市の方が高い値となっていますが、高齢独居世帯の割合は北広島市の方が低い値となっています。

# 5 高齢夫婦世帯の割合



### 高齢夫婦世帯の割合（平成27年(2015年)）



(時点) 平成27年(2015年)  
(出典) 総務省「国勢調査」

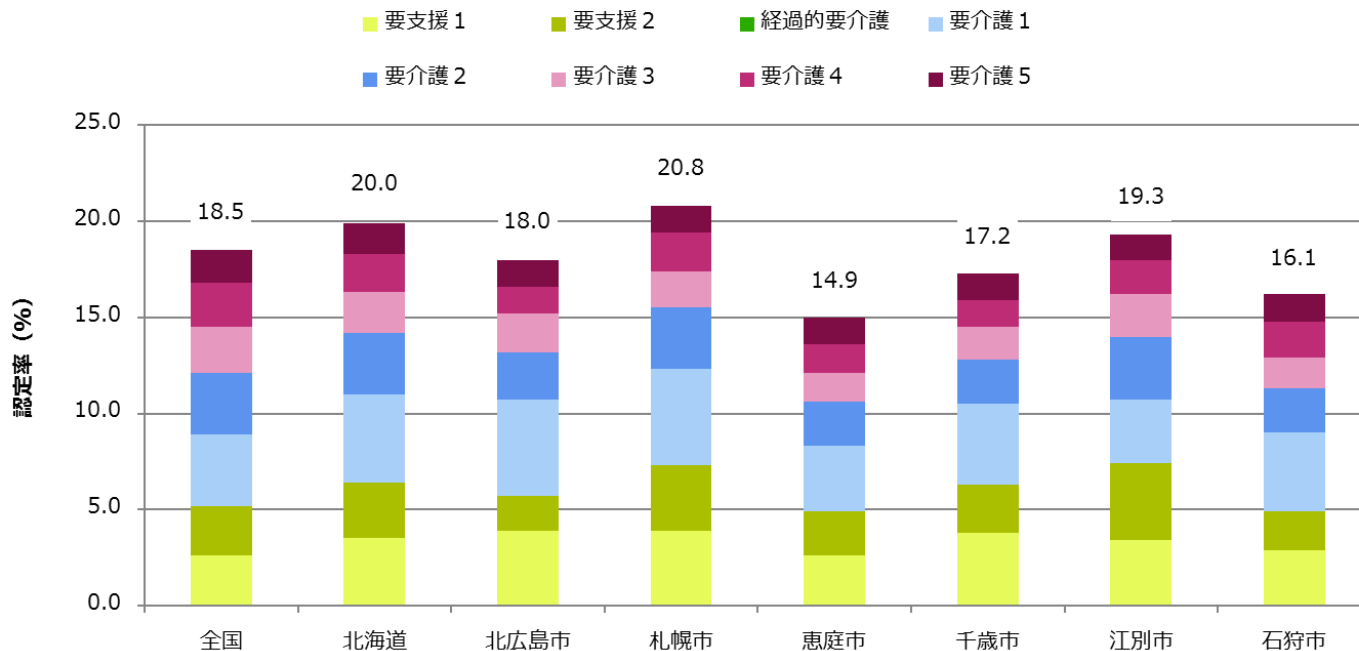
平成27年の北広島市の高齢夫婦世帯の割合は14.9%で、全国平均(9.8%)、全道平均(11.6%)を上回っています。

また、石狩管内他市と比較して、最も高い値となっています。

# 6 認定率（他市比較）



認定率（要介護度別）（令和元年(2019年)）



北広島市の認定率は、全国平均・全道平均を下回る値となっています。

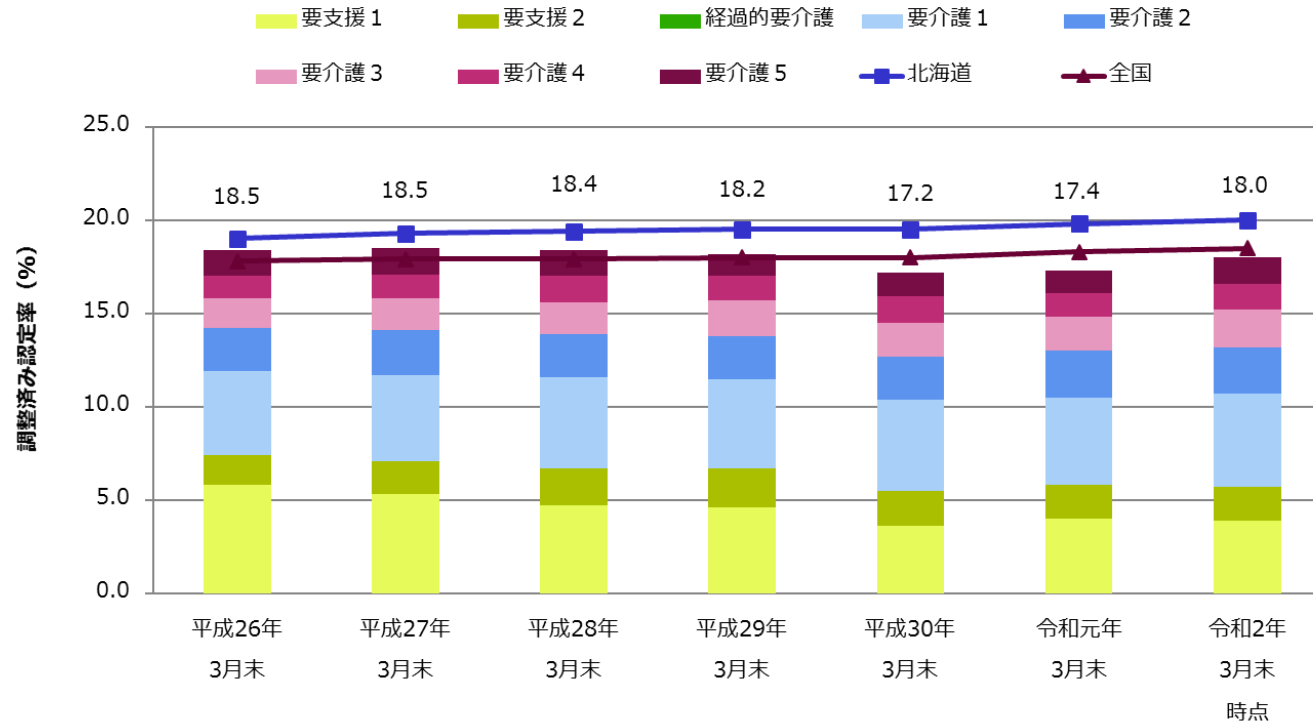
また、要支援1・要介護1の割合が多い状況となっています。

（時点）令和元年(2019年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元,2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

# 7 認定率（経年比較）

認定率（要介護度別）（北広島市）



北広島市の認定率は、介護予防・日常生活支援総合事業へ移行した平成29年度にかけて減少しましたが、その後増加に転じています。

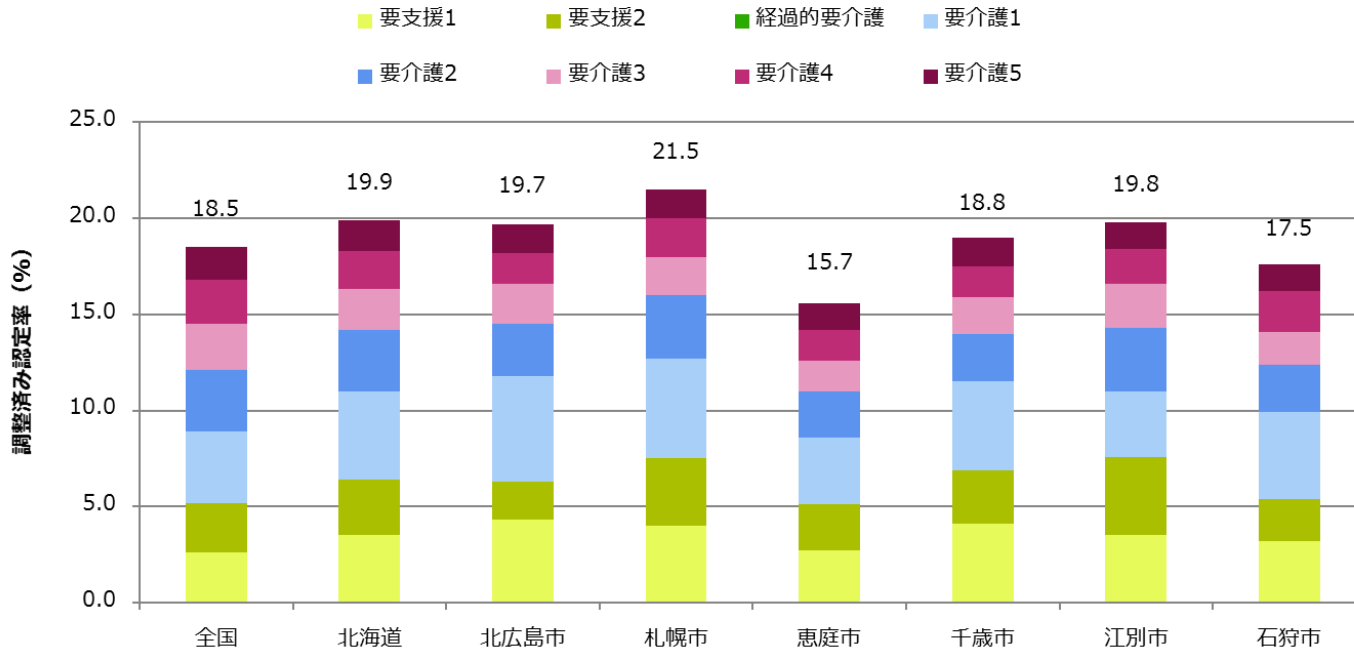
また、平成29年度以降、全国平均・全道平均を下回る値となっています。

（注目する地域）北広島市

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元、2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

# 8 調整済み認定率（他市比較）

調整済み認定率（要介護度別）（令和元年(2019年)）



調整済み認定率とは、認定率の多寡に大きな影響を及ぼす、第1号被保険者の性・年齢構成の影響を除外した認定率のことです。

北広島市の調整済み認定率は、全国平均を上回り、全道平均を下回る値となっています。

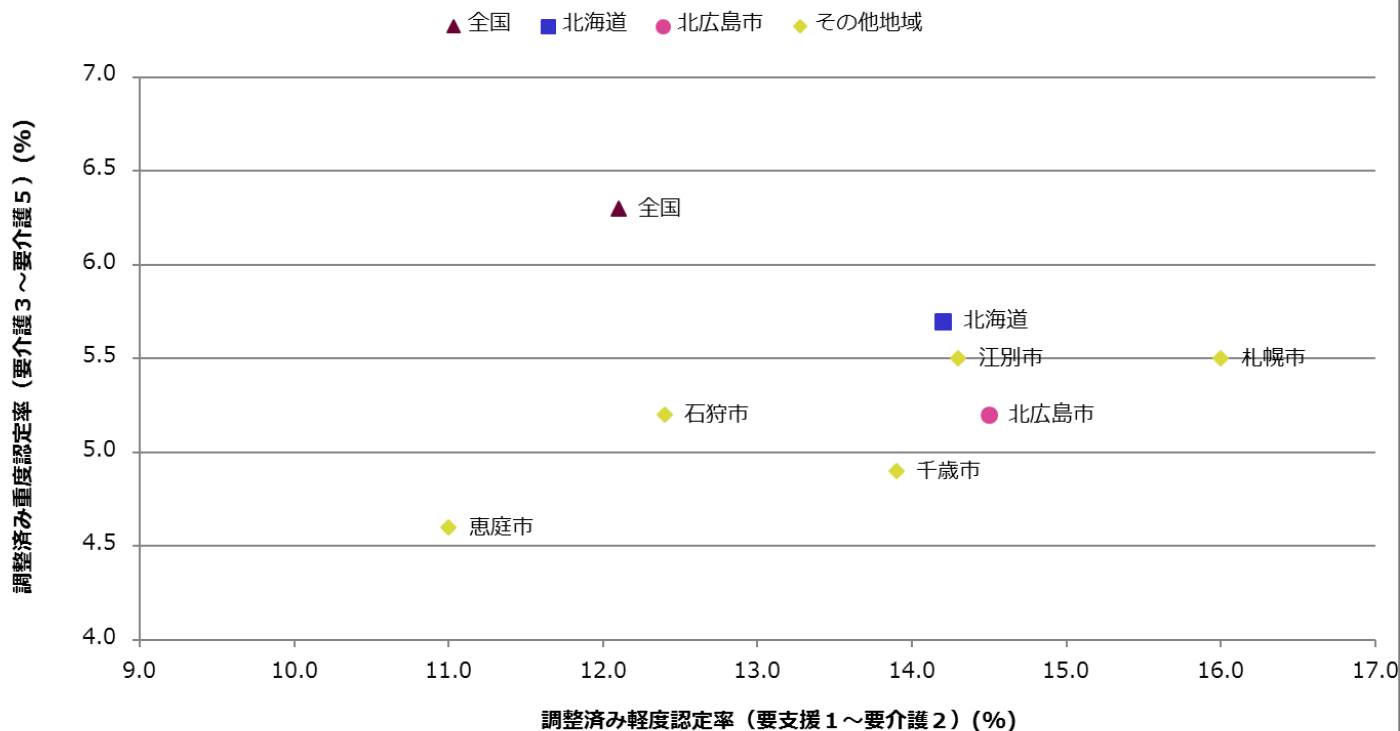
年齢構成が若いことが、（調整なしの）認定率の低さの一因となっていることが分析されます。

（時点）令和元年(2019年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

# 9 調整済み認定率（重度・軽度分布）

### 調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布（令和元年(2019年)）



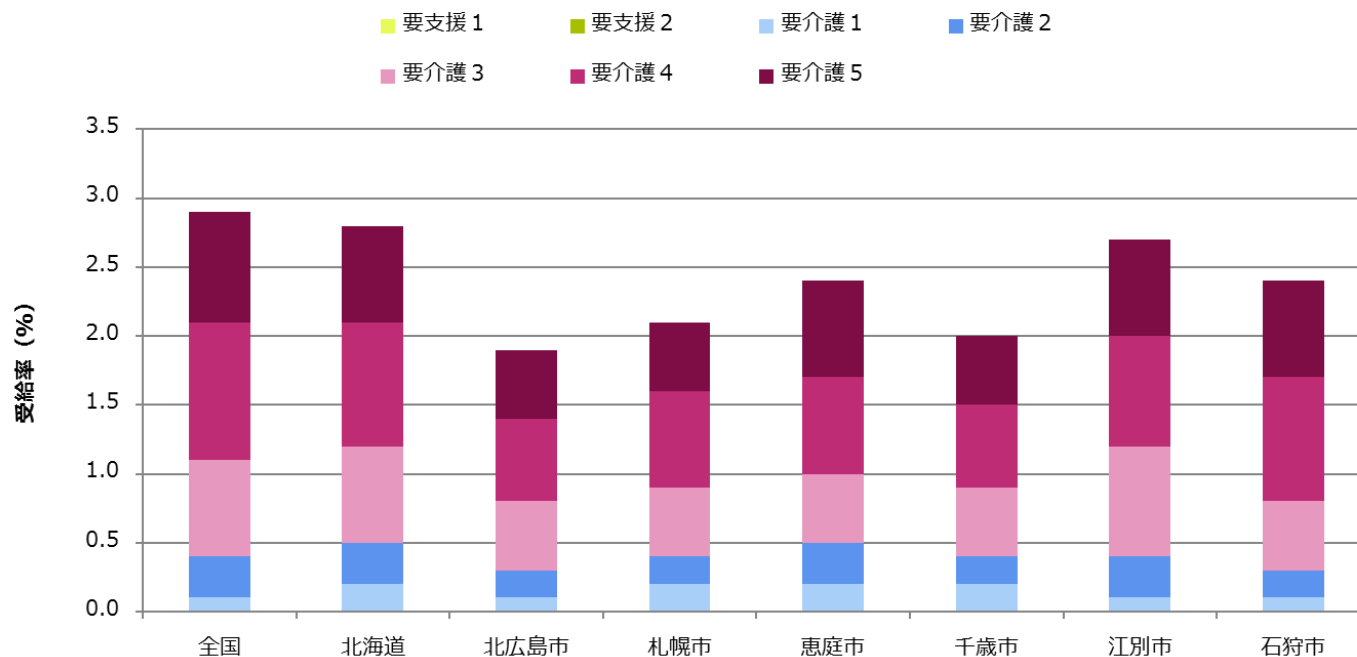
北広島市の調整済み認定率は、重度認定率は5.2%で全国・全道平均を下回り、軽度認定率は14.5%で全国・全道平均を上回る値となっています。

(時点) 令和元年(2019年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

# 10 受給率（施設サービス）

受給率（施設サービス）（要介護度別）（令和元年(2019年)）



北広島市の施設サービス受給率は1.9%で、全国平均・全道平均を下回り、また、石狩管内他市と比較しても、最も低い値となっています。

※施設サービス

- ・ 介護老人福祉施設
- ・ 地域密着型  
介護老人福祉施設
- ・ 介護老人保健施設
- ・ 介護療養型医療施設
- ・ 介護医療院

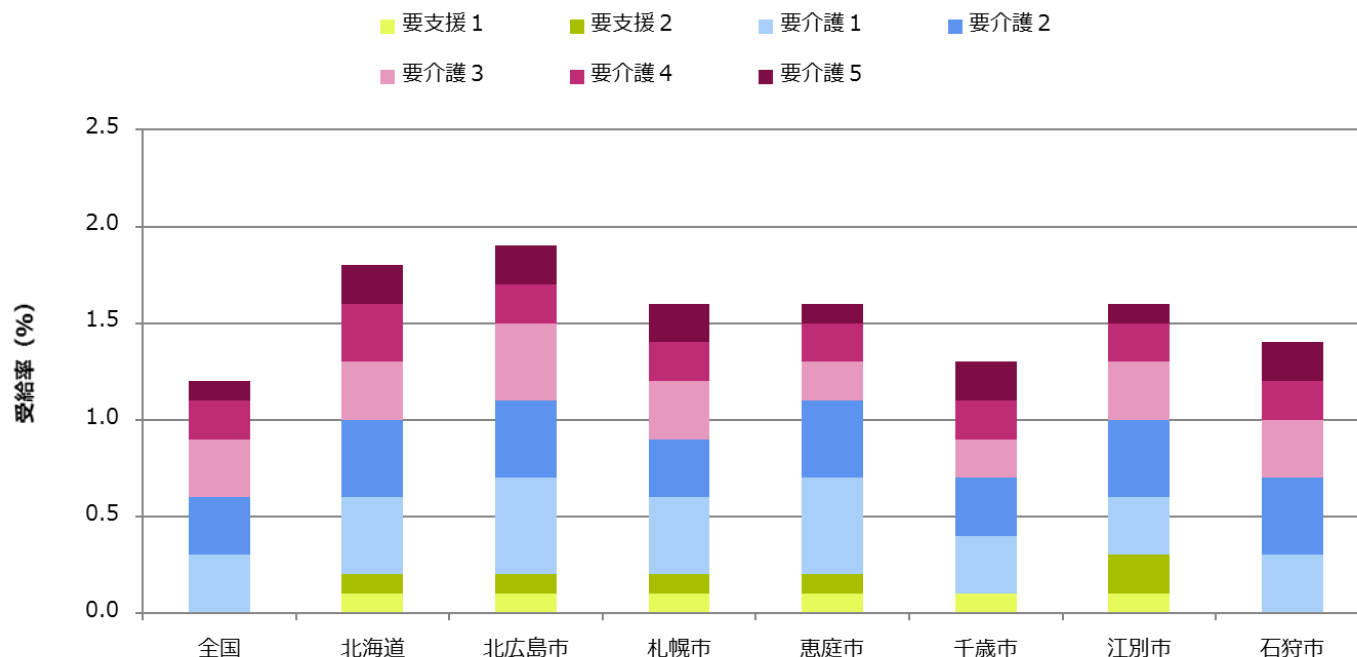
(時点) 令和元年(2019年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

# 11 受給率（居住系サービス）



受給率（居住系サービス）（要介護度別）（令和元年(2019年)）



（時点）令和元年(2019年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

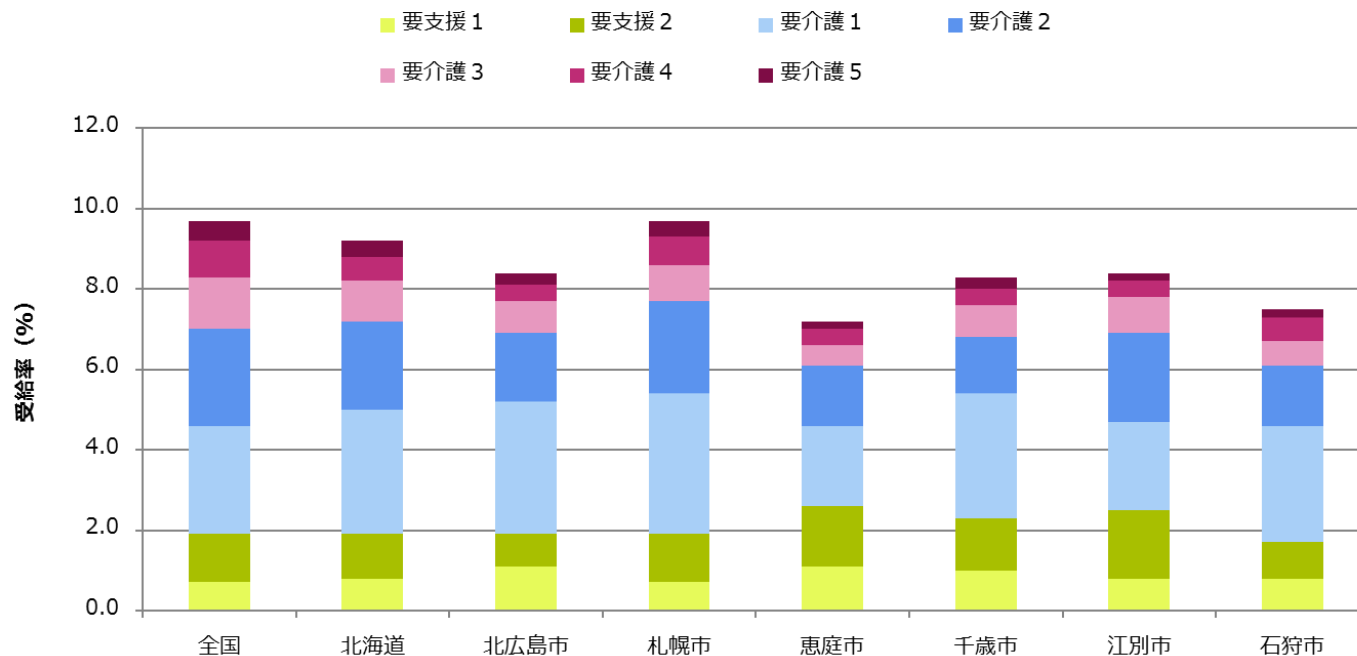
北広島市の居住系サービス受給率は1.8%で、全国平均・全道平均を上回り、また、石狩管内他市と比較しても、最も高い値です。  
また、要介護1～3の受給率が高い傾向です。

※居住系サービス

- ・ 認知症対応型共同生活介護
- ・ 特定施設入居者生活介護
- ・ 地域密着型特定施設入居者生活介護

# 12 受給率（在宅サービス）

### 受給率（在宅サービス）（要介護度別）（令和元年(2019年)）



北広島市の在宅サービス受給率は8.3%で、全国平均・全道平均を下回っています。

また、要支援1・要介護1の受給率が高い傾向です。

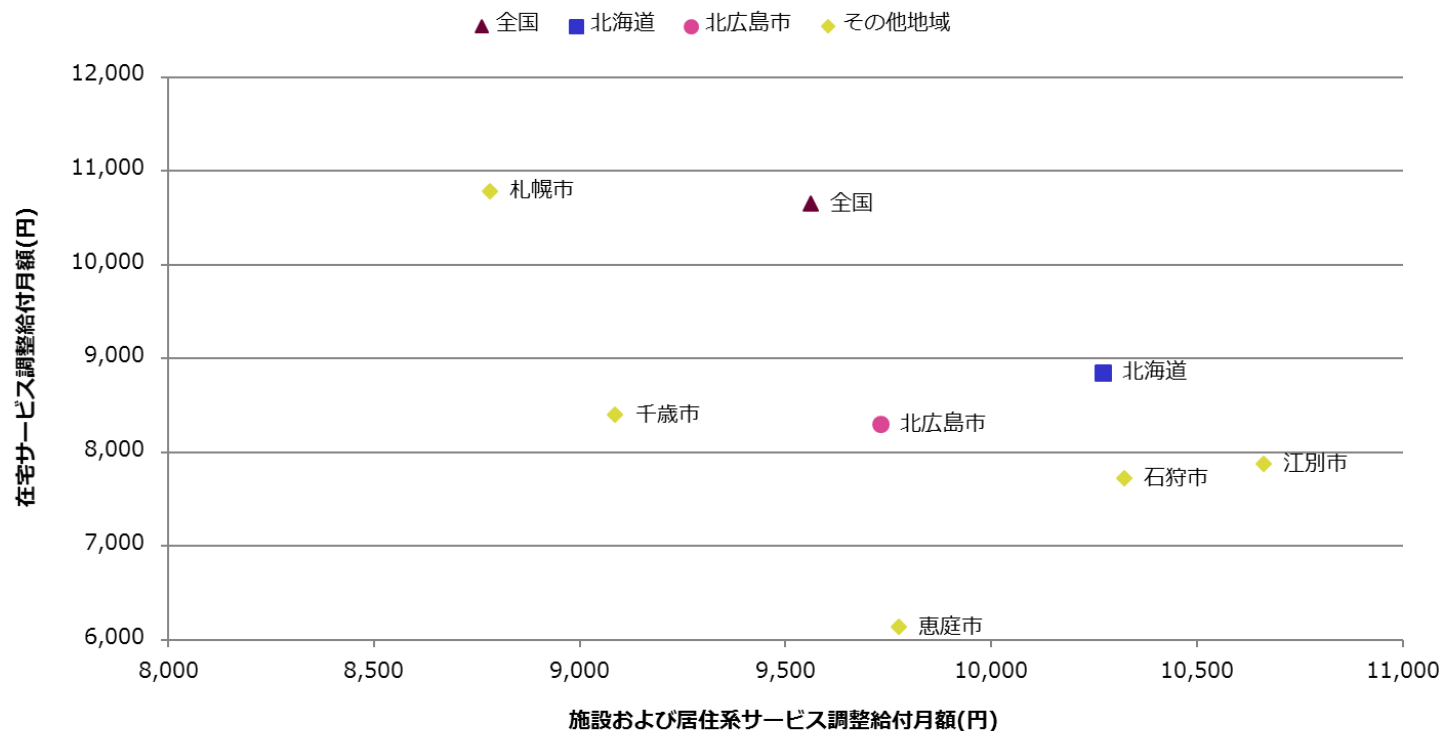
（時点）令和元年(2019年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

# 13 1人あたり給付月額（サービス系統別）



調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス）（平成29年(2017年)）



北広島市の調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額は、在宅サービスは全国平均・全道平均を下回っていますが、施設および居住系サービスは、全国平均を上回っています。

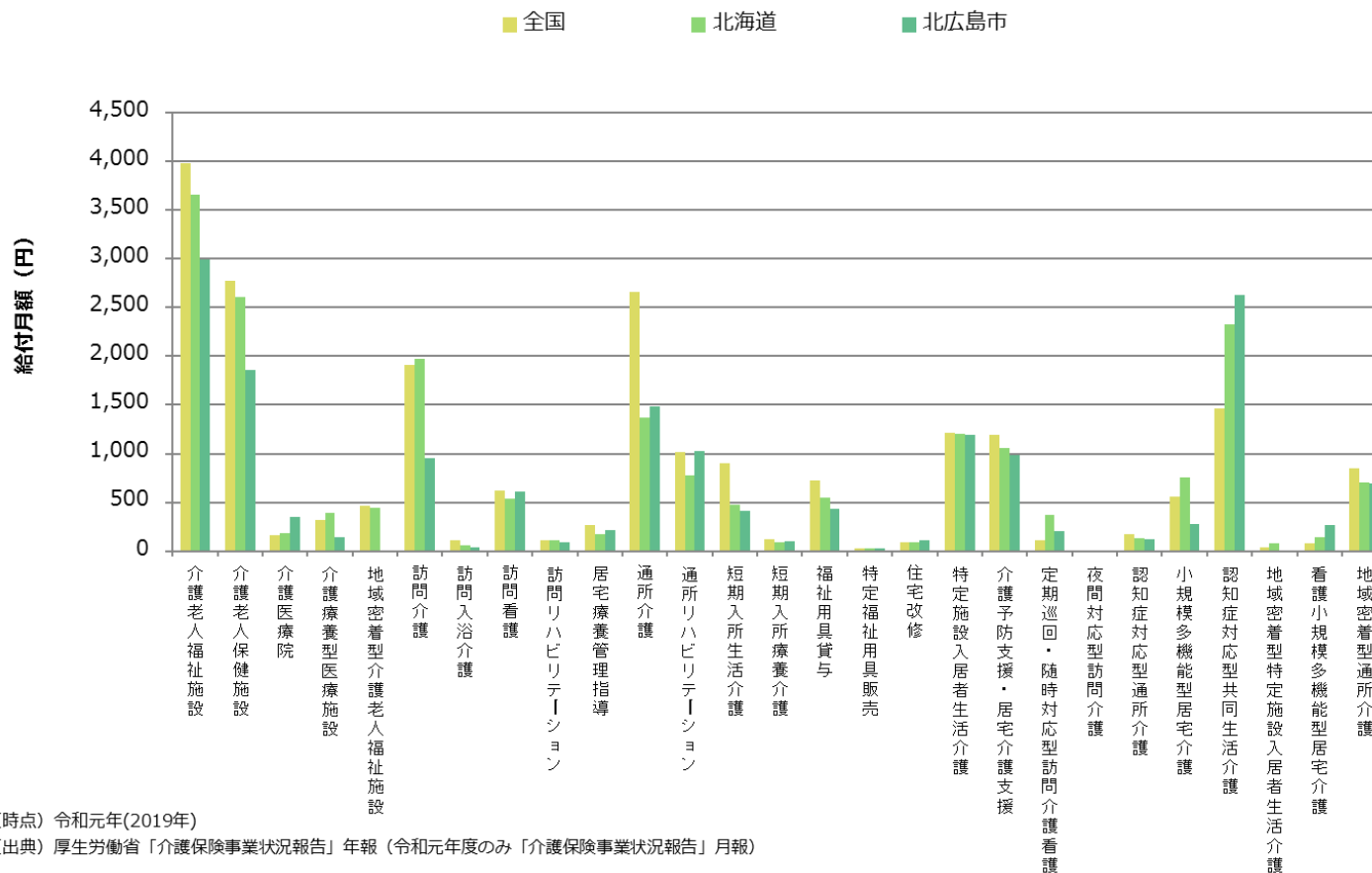
(時点) 平成29年(2017年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

# 14 1人あたり給付月額（サービス種類別）



第1号被保険者1人あたり給付月額（サービス種類別）（令和元年(2019年)）



北広島市のサービス種類別の第1号被保険者1人あたり給付月額は、全国平均・全道平均を下回るサービスが多いですが、認知症対応型共同生活介護は全国・全道平均を上回っています。

(時点) 令和元年(2019年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）



- 高齢者人口は、2040年頃にピークを迎えるものと推計されています。
- 高齢者を含む世帯の割合、特に高齢夫婦世帯の割合が、全国平均・全道平均を上回り、「老老介護」の状態に置かれやすい状況にあるといえます。
- 調整済み認定率については、全国平均・全道平均と特段大きな差があるとは言えませんが、要支援1・要介護1の割合が多い状況となっています。
- 施設サービスについては、重度（要介護3～5）認定率が低いことから、受給率が低くなっているものと思われます。
- 被保険者1人あたりの給付月額については、軽度（要支援1～要介護2）認定率が高いことから、在宅・施設サービスともに、給付額が少額になっているものと考えられます。